

● 広報

おくじ

2021

10

No. 804

おとつと
たこが落ちちゃう！

叶水小中学校の運動会が9月5日に開催されました。

毎年、地域のかたや基督教独立学園高校の生徒とともに開催してきた同校運動会は、去年は中止、本年は児童・生徒のみの参加となりました。コロナ禍で様々な制約があっても、子どもたちの弾ける笑顔で頑張る姿は輝いていました。

※競技：たこ送りリレー

各組に分かれて、竹竿の先にたこ（バケツ）を載せて落とさないように走ります

町では平成30年度に、町長を団長とする訪問団が山形県の姉妹県であるアメリカ合衆国コロラド州を訪問し、同州デンバー市及びゴールデン市で本町のPRを行いました。特にゴールデン市については、クアーズテック・グループの本社があること、観光に力をいれた町づくりを行っていることなどから、将来の友好都市の締結を目指し交流を続けています。



その訪問をきっかけに設立された国際交流団体「青い星と白い森（高橋泰弘会長）」が、あらためて訪問時の様子やゴールデン市と小国町の繋がりなどを紹介するイベントを10月2日から9日までアスモを会場に開催します。期間中は、ゴールデン市の中心に架かるウエルカムアーチを再現し、県内在住のコロラド州出身者によるコロラド州解説動画の上映やゴールデン市のジオラマ展示などを行います。また10月9日には、キッズ英語あそびやゴールデン市と白い森のロゴをあしらったエコバックづくりなどを体験できるワークショップも予定されています。



～白い森おぐにと米国ゴールデン市の楽しいこと、繋がりが体感できるフェスタ～

開催日：10月2日(土)～9日(土)
会場：アスモイベントスペース

〈イベント期間中いつでも〉

- ・2018年に訪問した時の写真や動画で小国町とゴールデン市の繋がりを紹介
- ・ウエルカムアーチを再現！ゴールデン市に行った気分で写真を撮ろう
- ・ゴールデン市がミニチュアに？ジオラマで町の雰囲気をお届けします。

10/9(土)限定

10:00～12:00

☆キッズ英語あそび☆
アメリカ、カナダ、オーストラリア出身の先生たちと楽しく英語で遊ぼう

12:00～15:00

☆ロゴステンシルワークショップ☆
好きな素材にゴールデン市と白い森のロゴマークをプリントしませんか。

※新型コロナ感染防止対策を徹底して開催します。

10月以降の 新型コロナウイルスワクチン 接種日程について

16歳以上 接種対象者数	1回目 接種済者数	2回目 接種済者数	2回目 接種済割合
6,492人	5,733人	5,613人	86.4%

※本町の接種状況（9月21日現在）

5月から開始しているワクチン接種について、皆様のご協力のおかげで、16歳以上の対象者に対し、2回目の接種を終えたかたが8割を超えて集団免疫に必要とされる7割に達しました。9月に入ってから、ワクチンの供給が停滞したため、新規の予約を受付できない状態になっておりました。大変申し訳ありませんでした。この度、10月のワクチン供給が決まりましたので、下記のとおり日程を追加して実施します。

なお、供給されるワクチンには限りがあります。ご了承下さい。

【16歳以上のかたへの接種について】

9月22日(水)で接種を終了としましたが、新たに2日間日程を追加して実施します。

- 日 時 1回目：10月14日(木)、15日(金) 14時～
2回目：11月4日(木)、5日(金) 14時～
- 会 場 健康管理センター
- 予約方法 インターネット予約またはコールセンターへの電話予約
- 受付期間 インターネット予約：10月5日(火)0時～8日(金)12時まで
電話予約：10月5日(火)8時30分～8日(金)12時まで

接種予約はこちら



【12歳～15歳のかたへの接種について】

現在、12歳～15歳のかたへの接種を開始しています。

新たに接種日程を下記のとおり追加して実施します。

- 日 時 1回目：10月18日(月)～28日(木)、11月1日(月)～4日(木)（土(日)祝を除く）
2回目：11月8日(月)～25日(木)（土(日)祝を除く）
※いずれの日程も午後からとなり、保護者の同意が必要です。
- 会 場 小国町立病院 小児科外来
- 予約方法 インターネット予約
- 受付期間 10月2日(土)0時～4日(月)23時59分まで
- 問 合 先 健康福祉課地域保健担当（☎61-1000）または
コロナワクチンコールセンター（☎0120-567-442）へ



小児科外来の休診について

12歳～15歳のかたへの接種を町立病院小児科外来で行うことから、下記のとおり小児科外来を休診します。

■休診日（いずれも午後休診）

- ①9月27日(月)～10月7日(木)
- ②10月18日(月)～28日(木)
- ③11月1日(月)～4日(木)

■その他

期間中に受診を希望する場合は、来院前に電話でご相談ください。

- 問合先 町立病院（☎61-1111）へ

イベント等の中止について

新型コロナ感染拡大防止の観点から、下記のイベント等について中止となりました。

○第19回おぐに鍋まつり

■問合先

おぐに鍋まつり実行委員会
（小国町商工会）（☎62-4146）へ

○第34回黒沢峠祭り

■問合先

黒沢峠敷石道保存会事務局
（☎62-2360）へ

やるべきことを続けて やらなければいけないことを始めます



樽口峠からみる 朝をむかえた飯豊連峰

「小国町過疎地域持続的発展計画」策定 「想像力」と「創造力」を高めて持続可能なまちへ

これまで本町では、豊かな自然と、自然とともに暮らしてきた人々が育む生活の知恵、ワザ、そして文化を大切に守りつつ、自然の恵みと地域に根差した産業を起こし、心を豊かにする生活空間と多彩な人々が行き交う空間の形成をまちづくりの基本姿勢に掲げてきました。そして、この永続的な取り組みの成果を「白い森の国おぐに」と位置付けています。一方で本町は過疎地域に指定されており、人口減少、少子高齢化のさらなる進行を要因とする課題や問題などが、まちづくりにおける様々な面で影響を及ぼしています。今後も本町が持続可能な社会の形成や地域資源等を活かした活力向上を目指していくため、多様な力の結集によるまちづくりの取り組みを明らかにした「小国町過疎地域持続的発展計画」を本年9月に策定しました。

今月は、この「小国町過疎地域持続的発展計画」の概要についてお知らせします。

過疎を脱却し 小国町に関わる全ての人が幸福になるため



過疎地域とは

国の高度経済成長に伴い、農山漁村地域から都市地域に向けて若者を中心とした大きな人口移動が起こったことで、住民の過度の減少が進み、地域で生活していくことにも支障が生じる、いわゆる過疎問題が発生したため、国は「過疎地域対策緊急措置法」を昭和45年に制定しました。過疎地域は人口要件や財政力要件に該当する市町村が対象とされ、本町も過疎地域の指定を受けることになりました。その対策として昭和41年に樹立したまちづくりの柱である「生活圏整備構想」の展開に努め、生活諸環境の整備等に取り組みながら、新しい社会生活圏の形成を図りました。その拠点として建設されたのが、「おぐに開発総合センター」です。その後、新たな産業おぐしや町中心部に立地している既存企

業の支援のほか、農業基盤整備を進めながら積極的に第1次産業基盤の構造改善を行ったことで、人手がかからなくなり、働く場が第2次産業や第3次産業へと移行していきしました。その後、「過疎地域振興特別措置法(昭和55年制定)」、「過疎地域活性化特別措置法(平成2年制定)」、「過疎地域自立促進特別措置法(平成12年制定)」と50年間にわたる、これらの制度により町内の社会基盤の整備等をはじめとした総合的な過疎対策を講じてきました。そして、本年4月に「過疎地域の持続的発展計画の支援に関する特別措置法」が施行され、これまでの「自立促進」から「持続的発展」へと法の理念も見直されています。

こうした流れを受け、今後もち続可能な社会の形成および地域資源等を活かした地域活力の向上のため、同法に基づく「小国町過疎地域持続的発展計画」を策定しました。

小国町過疎地域持続的発展計画で目指す姿

▶計画の基本方針◀

第5次総合計画基本構想（令和2年2月策定）で示したものが基本的な指針となります。

【町の将来像】

自然を愉しみ みんながわくわくする 白い森の国おぐに

【基本理念】

白い森まるごとブランド構想

（モノ・コトの魅力を磨き、誇りを確立する）

【まちづくりの指針】

- ①白い森の国を担う「人」づくり
- ②白い森の魅力を磨く「環境」づくり
- ③白い森を舞台とする活き活きとした「暮らし」づくり
- ④持続可能な行財政運営

▶持続的発展のための基本目標◀（令和7年度の目標数値）

人 口 = 7,092人（町外からの通勤者を含む）

合計特殊出生率 = 1.80（平成23年～27年の平均値を維持）

▶計画の期間◀

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

発展のための施策

①移住・定住・地域間交流の促進、人材育成

■主要事業 移住定住促進事業、ワカモノプロジェクト、地域資源活用域学連携事業、高校魅力化推進事業

人口減少時代の到来により、大幅な人口増加を見込むことが難しいことから、定住人口だけでなく、町外からの通勤・通学者や頻繁に来訪し地域に関わるかたなど、他地域に居住しながら本町で活動する「協働人口」を含めたまちづくりを推進していきます。また、

小国らしい暮らし方働き方モデルの構築を含めて多様な移住施策を進めます。町民のかたがまちづくりへの関心を高め、自分事として関わることでできるような、学びの機会を創出し、その成果や意欲が地域づくりに発揮できるよう支援していきます。

②産業の振興

■主要事業 地域資源循環型耕畜連携拠点施設整備事業、道の駅機能拡充事業、飯豊山麓交流ゾーン拠点施設整備事業、地域商業サービス支援事業

水田農業を基幹としながら、複合経営を振興するとともに6次産業化の取り組みと合わせ、農業経営の安定化を図ります。また、観光振興では「やまがたアルカディア観光局」に参画し広域での旅行商品造成が可能になったことから、町内外の観光関係団体等の協力連携体制の構築を促進していきます。

③地域における情報化

■主要事業 自治体DX推進事業（自治体DXⅡデジタル技術を活用して住民の生活を向上させること）、地方創生テレワーク推進事業、公図データ化推進事業

本町において、テレビが見られない、携帯電話がつかないなどの障害は各施設の整備等により、解消されています。また、全小中学生には、タブレット端末等の貸与を行い一人ひとりの学びの充実を図っています。今後は



▲黒沢峠祭りで地域のかたと関わる緑のふるさと協力隊員（令和元年10月）

特集 「小国町過疎地域持続的発展計画」策定

これまでの過疎対策について

◆S45 過疎地域対策緊急措置法

- ・前期対策「生活圏整備構想」の展開
町市中心部に高いレベルの都市的利便性を図る拠点として「おぐに開発総合センター」を整備
- ・後期対策「産業圏整備構想」による産業おこしへ着手
町中心部の既存企業の支援のほか、農業基盤整備を行った。その結果、第2次、第3次産業へ労働力が吸収された。

◆S55 過疎地域振興特別措置法

- ・「自然教育圏構想」を柱に農工地域でのコミュニティ再生と、山間地域における資源活用型産業おこしを展開

◆H2 過疎地域活性化特別措置法

- ・「白い森構想」と「ぶな文化交流圏構想」の中で、荒川リバーサイドパーク(りふれ周辺)や白い森国際フェスティバル開催、包括ケアタウンの形成(町立病院周辺)、新しい住宅団地の造成(東原等)などに着手

◆H12 過疎地域自立促進特別措置法

- ・H9策定の第3次小国町総合計画「白い森の国おぐにの基本構想」に基づき、多様な人々の協働により自然と人々が共に暮らし、美しく自立した生活空間の形成を図り、横川ダム整備、あけぼの団地造成、小中高一貫教育の推進等を展開

◆H22、H24に期限延長され、H33が期限となった過疎地域自立促進特別措置法

- ・第4次小国町総合計画基本構想に基づき、「人と自然が織りなすやさしい暮らしがあるまち“白い森の国おぐに”」を目指し、前期では、新小国小学校建設や緑のふるさと協力隊受け入れ事業などを進め、後期には道の駅機能拡充事業に電子カルテ更新事業などを展開

こうした継続的な過疎対策により、社会基盤改善や地域産業の拡大発展が進み、本町の特性を生かしたまちづくりの展開が図られました。

昭和45年から令和元年度に過疎対策事業に投資した実績額は、1,140億8,258万円に達し、このうち、過疎対策事業債を充当した事業実績額は234億3,818万円になります。

子どもから高齢者までがいつでも通信ネットワークを活用し必要な情報にアクセスできるように、環境整備等の検討を進めます。

④交通施設の整備、交通手段の確保

■主要事業 町道整備事業、公共交通運行事業、新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会

新潟山形南部連絡道路全線の早期建設の実現のため、新潟山形南部連絡道路建設期成同盟会と共に関係機関・団体

への運動を展開していきます。

⑤生活環境の整備

■主要事業 除雪事業、小国の住宅総合支援事業、自主防災組織育成整備事業

安全で安心して暮らすことができる快適な定住環境の整備を図るため、道路除雪については、主要生活道路から生活密着道路までを対象路線とし冬季の住民生活を支えていきます。また、多発する災害等に対応するため、多様な情報伝達システムを整備するとともに、自主防災組織の育成

に努めます。

⑥子育て環境の確保、高齢者等の保健および福祉の向上および増進

■主要事業 福祉医療給付事業、支えあいほっとライン事業、高齢者等暮らし応援事業

若い世代が安心して子どもを産み、育てることができ環境づくりに向けて、結婚、妊娠、出産、子育て期までの切れ目のないサポートを続けるとともに子育て支援の充実を図りながら、子育てに係る

負担の軽減に努め、子育て優先型社会の創出につなげます。一方、高齢化の進行に対応するため、医療、福祉介護サービスの連携強化を推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできるまちづくりに取り組みます。

⑦医療の確保

■主要事業 総合的な医療確保対策事業、人工透析患者送迎事業

地域医療の中核である町立病院の役割を継続的に果たしていけるよう、医療水準や医

特集 「小国町過疎地域持続的発展計画」策定

療分野の適性を探りながら経費節減、医療収益の増収を目標に経営の安定化を図ります。

⑧教育の振興

■主要事業 ICT活用事業、小国町保小中高一貫教育支援事業、コミュニティ・スクール推進事業、文化振興事業、生涯スポーツ振興事業

保小中高一貫教育基本構想に基づき、保育園から高校まで連携して教育を実践しながら郷土を愛でる心と国際社会で活躍できる人財の育成を図ります。また、県立小国高校の魅力化を推進するため、特色ある教育の展開に向け支援を強化していきます。

⑨集落の整備

■主要事業 地域づくり支援員導入事業、ふるさとづくり総合助成事業、地域職員派遣事業

地域において多様な主体の連携による支え合いのシステム構築に努め、町民の安定し

た暮らしの確保を図ります。集落機能の維持・保全に向け、これまで以上に地域と行政が一体となった地域づくりを進めるための仕組みを検討します。

⑩地域文化の振興等

■主要事業 歴史民俗資料館整備事業、次期総合センター整備事業、ぶな文化継承事業

旧伊佐領小学校を歴史民俗資料館として活用し、歴史的価値がある資料の保管と展示を行い、題材として学ぶことができる環境を整備します。また、文化や教育子育てなどの複合的な機能を有する地域づくり拠点として「次期総合センター」を整備し、人財の育成や交流を通し、地域コミュニティ活動などを支えながら、地域が一体となって「ぶな文化」の継承に取り組む場をつくっていきます。

⑪再生可能エネルギーの利用の促進

SDGs（持続可能な開発目標）と各施策の関連性



	① 貧困	② 飢餓	③ 健康と福祉	④ 教育	⑤ ジェンダー	⑥ 水・衛生	⑦ エネルギー	⑧ 働きがいと経済成長	⑨ 産業と技術革新	⑩ 格差是正	⑪ 住み続けられるまち	⑫ 持続可能な生産と消費	⑬ 気候変動	⑭ 海洋資源	⑮ 陸上資源	⑯ 平和と公正	⑰ パートナリーシップ
1 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成											●						●
2 産業の振興							●	●	●			●		●	●		
3 地域における情報化									●	●							
4 交通施設の整備、交通手段の確保									●	●	●						
5 生活環境の整備						●					●	●	●	●	●		
6 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	●	●	●					●			●						
7 医療の確保			●														
8 教育の振興				●												●	
9 集落の整備					●						●						●
10 地域文化の振興等				●													
11 再生可能エネルギーの利用の促進							●						●		●		
12 その他地域の持続的発展に關し必要な事項					●						●						●

■主要事業 地域再エネ施設整備事業、地域再エネ導入戦略策定事業

国では、2050年までに

温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目標に掲げていることから、これまでの取り組みを踏まえ、木質バイ

特集 「小国町過疎地域持続的発展計画」策定

オマスエネルギーの導入をはじめ、再生可能エネルギーのさらなる利用推進、普及拡大を図り、地域における脱炭素の実現に近づけていきます。

⑫その他地域の持続的発展に 関し必要な事項

■主要事業 白い森まるごと
ブランド構想、SDGs推進事業、企業版ふるさと納税活用事業

これまで白い森まるごとブランド構想において推進してきた「モノづくり」や「ヒトづくり」に加えて、小国の自然や人、暮らしに触れるなどの体験や関わりから経験価値を高める「コトづくり」のブランド化に取り組んでいきます。また、2030年までに持続可能な社会を実現するために国連が定めたSDGs(持続可能な開発目標)の考え方をさらに深く広めていくため、身近な体験等や楽しみながら学ぶ講座等を開催していきます。

小国町振興審議会委員 岡崎昌之氏

法政大学名誉教授



人口減少が当たり前の観念になりすぎている昨今、本計画では、前文で「忘れられた日本人」(宮本常一著)の中で何日も何日も話し合って集落の物事を決めてきたことがまちづくりの話し合いの大切さだと触れてあります。この部分は、小国町にある100を超える集落を起点にして過疎

をどうするかを考えていく必要があるという意思を感じさせます。この計画書ができて、ここからがスタートです。今後、計画をどう町民のかたがたと共有していくのかも重要です。

計画策定にご尽力いただいた有識者の 先生がたから計画についてお聞きしました

小国町振興審議会委員 榎田みどり氏

農業ジャーナリスト (明治大学客員教授)

計画の中に出てくる「協働

人口」とはとても良い言葉だ

と思いました。移住者のかた

たちと地元のかたとのコミュニ

ニティの接点づくりとして、

一緒に地域課題の解決を目指

すなど、移住者が地域に参加

できる仕組みづくりは重要だ

と思います。また、小国町は

「ぶな文化」に誇りを持ち、ブ



ランド化を進めていくという決意が表されていて、大事なことだと感じています。是非、継承だけでない「ぶな文化」のブランド化のため、発信する手段についても考えていただければと思います。

「想像力」と「創造力」

まちづくりを進めるうえで、小国町の将来の姿やあり方をデザインするには、「想像力」が不可欠になります。そして、その姿を目指し、新しい「モノ」や新しい「ヒト」、新しい「コト」を創り上げていく「創造力」につなげていくことがこれからのまちづくりに重要であるといえます。その先に、第5次小国町総合計画基本構想で掲げた「ずっと住み続けたいまち」、「選んでもらえるまち」があるのではないのでしょうか。そして「自然を愉しみ みんながわくわくする 白い森の小国ぐに」を掲げ、持続可能な取り組みを一步步つ継続していくことにより、小国に住む町民だけでなく、関わる全ての人が幸福を感じながら生活できる(ハウェルビーイング)まちづくりの実現を目指すことが可能になります。

※計画の全文は町HPからダウンロードできます



巨木・名木の保全講習会

木の1年は人の10年

何百年と地域を見守り続ける巨木・名木の文化財としての価値を見直し、保全していく方法を学ぶため、9月20日アスモを会場に樹木医の三森和裕氏による講演会が開催されました（教育委員会主催）。また、講演会のあとは飛泉寺のイチヨウなど町内巨木の現地観察会を行い、保全方法について三森氏から助言をいただきました。移植されたイチヨウはしっかり根付き、樹勢もとても良いとのこと、「木にとって1年は、人の10年ほどに相当します。元気なうちから日常的にしっかり手入れしていくことがのちのちとても大事になります。」と三森氏は話されました。



第37回 小国町長杯ゲートボール大会

北部チームが優勝、準優勝独占

9月10日、小国町民広場を会場に第37回小国町長杯ゲートボール大会（主催：町ゲートボール協会）が開催されました。各地区から6チーム20人が参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。

結果は次のとおりです。

優勝 北部B 準優勝 北部A

3位 鶴亀会 3位（敗者復活） 高砂会



長寿のかたに記念品を贈呈

本町最高齢は103歳



▲こもれびの里での記念品贈呈式 左から野澤直江さん101歳、鈴木キヌエさん102歳、高橋喬さん103歳

本年度、本町の大正10年以前生まれの101歳以上のかたは10人、その他百寿8人、白寿6人、米寿72人、そして喜寿が82人となっています。9月16日には、白寿以上の皆さんへ町長から記念品が贈呈されました。毎年喜寿や米寿を迎えられたかたをお祝いするため、高齢者顕彰式を開催していますが、今年度はコロナ感染予防のため、中止となりました。来年度は顕彰式を開催し、盛大にお祝いできることを期待したいところです。

黒沢峠合同調査

敷石道の価値を再発見



▲敷石に彫られた文字や絵を調査

町指定文化財（史跡）であり、県の「未来に伝える山形の宝」などにも登録されている黒沢峠の敷石道。その価値を掘り起こすことを目的に、9月15日から3日間、黒沢峠敷石道保存会のかたがたを中心とした町民ボランティアと、東北芸術工科大学歴史遺産学科の北野博司教授及び学生たちによる合同調査が行われました（教育委員会主催）。調査では敷石の段数を数えたほか、黒沢集落周辺の石碑等を記録し、黒沢峠に関わる文化財について理解を深めました。

※感染防止対策を講じて開催したイベントを掲載しています。

叶水地区限定

泥んこフェスティバル開催

9月19日、東部地区体育協会（伊藤正俊会長）による「地区限定泥んこフェスティバル」が開催され、参加者70人が泥まみれになりながら様々なプログラムを楽しみました。この取り組みはコロナ禍で町内のイベント中止が相次ぐ中、地区を盛り上げるために昨年度から実施されています。

▶落ちたら泥まみれ
手押し相撲



SDGs推進事業

森林から循環型社会を学ぶ



SDGs（持続可能なよりよい社会を目指す為の目標）を、本町の雄大な森林から学ぶSDGs研修会が9月17日、18日の2日間にわたり開催されました。18日の森林浴体験会（会場：温身平）では、土の匂いが場所によって違うことを確認するなど、森の豊かさを学びました。講師の小野なぎささん（（一社）森と未来代表理事）は「木の葉が朽ちて土になり、それが木を育てる。全ては循環の中にいて、人もその一部であると意識することがSDGsの考え方につながります」と話されました。なお、10月30日にSDGsカードゲーム体験会を企画しています。是非ご参加ください。

「冬が待ち遠しい」

地域おこし協力隊 にしむら みき 西村 美祈

夏が終わり、肌寒い日もありますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

小国町に来てもう少しで半年が経とうとしています。春夏と過ごし、わらび狩りに行かせてもらったり、海に出かけたり（小国から近いですね）、小国町を満喫しています。

冬が近づくにつれて、皆さんから「冬は気をつけてね」と声をかけてもらえます。「嫌にならないでね」と心配してくださる声も多いですが、私は小国町の冬を楽しみにしています。はじめての冬、どんな景色と出会えるのか、まだまだ知らないおぐにを知り、自分の目で見て感じたことを町外のかたにも発信していきたいですね。

さて、最近は小国町の特産品を扱う通販サイト「おぐにもん」の運営や商工会のお買い物券の発行のお手伝い、観光協会のふるさとギフトのチラシ作り、観光ツアーの企画など多様な業務に関わる人も増え、とても充実しています。今後も更なる経験を積んでいきたいなと思います。

協力隊通信

series 66



▲初めてのわらび狩り



叶水小中学校

小中学校 大運動会

さあ、いくぞ！

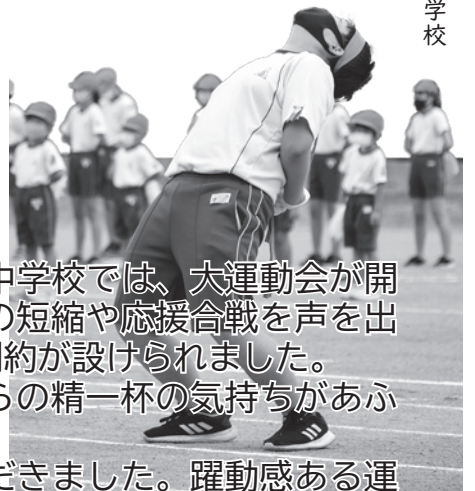
8月下旬から9月上旬にかけて、各小中学校では、大運動会が開催されました。コロナ禍により競技時間の短縮や応援合戦を声を出さないパフォーマンスにするなど様々な制約が設けられました。感染対策を講じながらも、児童・生徒らの精一杯の気持ちがあふれる運動会でした。

地域のかたには応援の自粛をしていただきました。躍動感ある運動会の様子をお届けします。

来年は、皆で観戦し応援ができることを期待しましょう。



小国中学校



小国小学校



叶水小中学校



小国小学校



小国中学校

未来に伝えたい

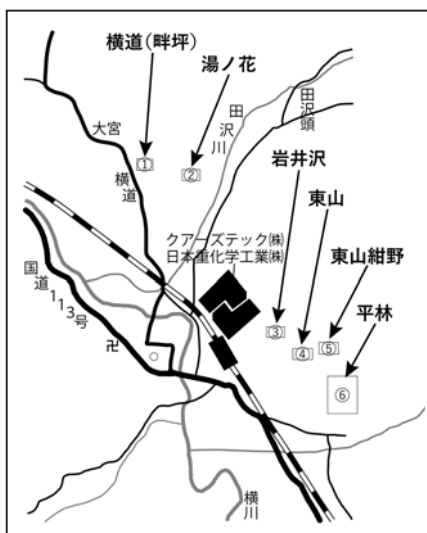
白い森おぐにの

文化遺産

その④ 埋蔵文化財

前号で紹介した東山紺野遺跡を含め、本町には先史時代（旧石器時代から弥生時代頃まで）の遺跡が80箇所ぐらいあることが知られています。その多くは縄文時代のもですが、それ以前にあたる旧石器時代の遺跡も11箇所と、県内では比較的多く見つかっています。

遺跡のうち、とくに歴史上あるいは学術上価値が高い遺跡に関しては、国や県、市町村の指



▲町内の主な旧石器時代の遺跡
（『小国の文化財』より抜粋）

地中に埋まっています、その存在すら誰にも知られていない文化財もあります。それが埋蔵文化財と呼ばれるものです。埋蔵文化財は、文献史料や記録のない先史時代の生活を考える上で唯一とも言

定文化財（記念物のうち史跡）に指定されることがあります。また、「東山紺野遺跡出土の黒曜石製石器」のように、出土した遺物で高い価値が認められるものについても有形文化財（考古資料）として指定を受けることがあります。

うべき物的資料です。しかし、どこにあるのかが分からず、むやみな開発行為によって気づかれないうちに失われてしまうおそれがあります。そのような事態を防ぐため文化財保護法では埋蔵文化財の取り扱いについて1章を設け、定めています。

これまで、石器や土器などの遺物が発見されたり、住居跡等遺跡の埋まっていることが知られていたたりする場所のことを「周知の埋蔵文化財包蔵地」と言います。土地の掘削や構造物の設置、盛土等を伴う工事を計画している事業者は、その場所が包蔵地に含まれていないかを確認する必要があります。町内に関しては、教育委員会ですそれらの場所や範囲について把握しているのです、是非お尋ねください。また、県でも「山形県遺跡地図」としてホームページ上で公開しています。

もしも、計画区域が包蔵地に含まれているようでしたら、試掘や確認調査をおこない、必要に応じ発掘調査による記録保存などを相談させていただくこ

とになります。

また、包蔵地に含まれていないくても、工事中に遺物などが見つかることがあります。そのようなきも、現状を変えないよう一時工事を中断し、まずは教育委員会までご連絡ください。県の専門担当者に照会し、その後の対応を相談させていただくことになっています。

町指定文化財である「東山紺野遺跡出土の黒曜石製石器」。その素材の産出地は理化学的分析から現在の青森県深浦であることが分かっています。また、湯の花遺跡から出土した黒曜石製石器の中には、素材が北海道産であるものも見つかっています。これらは、1〜2万年前に、今では想像できないような広域にわたる人の移動や交流が小国で展開されていたことを教えてくれるのです。そのような、まだ見ぬ太古の歴史へと私たちを誘う埋蔵文化財。みんなで大切に守り、未来へ遺していきたいものです。

日々の生活で感じることを言葉に

第60回山形県少年の主張小国地区大会が、9月2日におぐに開発総合センターで開催されました。各中学校から計3人が出場し、野崎さよ子さん（叶水中学校）が最優秀賞に選ばれました。東日本大震災の際「想定外には想定外で立ち向かい」避難生活を「楽しい思い出ばかり」にしてくれた、母の姿を見て自分の殻を破り、失敗を恐れずに飛び出そうと決意したことを発表しました。野崎さんは、置賜ブロック大会でも置賜代表の1人に選出され、県大会でみごと最優秀を獲得し、東北・北海道ブロックの代表選考に進むことが決まりました。



▲最優秀賞 野崎さよ子さん（叶水中3年・写真中央）
優秀賞 深浦大芽さん（小国中3年・写真左）
優良賞 藤田稟栞さん（小国中3年・写真右）

故 舟山壽一さん
元北部小中学校長の
故・舟山壽一さん（増岡）
が叙位を受章され、8
月27日ご遺族に伝達さ
れました。舟山さんは、
昭和23年に小国中学校
で教職に就かれてから、
昭和62年まで永きに渡
り、教育振興に尽力さ
れました。退職後には、
町体育協会（現スポー



▲置賜教育事務所設案所長より伝達

叙位（正六位）受章
ツ協会）会長を15年間
勤められました。

大人の「風しん」 抗体検査・予防接種について

令和元年から2年に対象者にお送りした「風しん」抗体検査・予防接種クーポン券（無料）の有効期限が、令和4年2月までに延長されました。まだ抗体検査を受けられていないかたは、この機会に抗体検査を受けることをおすすめしています。

■対象者

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までに生まれた男性

■接種期限 令和4年2月末まで

■助成内容

風しんの抗体検査を行い、抗体価が低い場合、予防接種も無料で受けることができます。

■その他 クーポン券を紛失したかたや町外から転入されたかたは、再発行を行いますので、ご連絡ください。

■問合先 健康福祉課地域保健担当 （☎61-1000）へ

10月からマイナンバーカードが健康保険証として利用できます

マイナンバーカードを読み取るカードリーダーが設置された医療機関や薬局では、健康保険証として利用できるようになります。（加入している保険の種類は問いません）

保険証として利用するには、事前に「初回登録」が必要です。

登録方法については、町ホームページをご参照ください。

制度開始後は、顔認証付きカードリーダーを設置する医療機関等でも登録できます。

- ・保険が変わった場合は、従来通り保険者への届出等が必要です。
- ・現在お使いの健康保険証はこれまで通り使用できます。
- ・次の町内医療機関・薬局では、カードリーダーの設置を予定しています。

利用開始時期については、各施設にお問い合わせください。

小国町立病院、田中クリニック、おぐに調剤薬局、白い森調剤薬局、アスモ前調剤薬局

■問合先 町民税務課国保医療担当（☎62-2161）へ

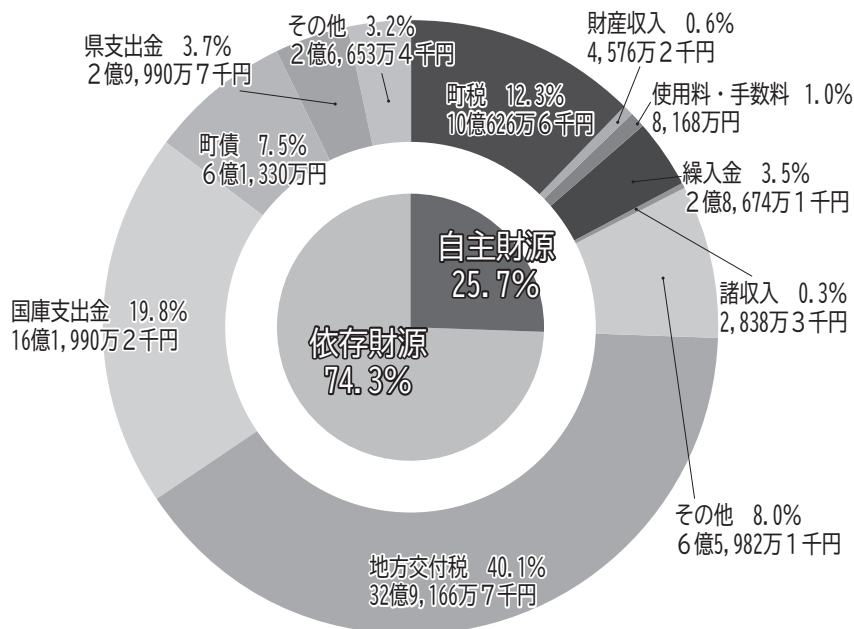
登録方法は



こちら

決算報告

一般会計歳入 81億9,996万3千円
(前年度比21.9%増)



令和2年度一般会計と企業会計、特別会計の決算が9月15日、小国町議会9月定例会で認定されました。一般会計歳入総額は81億9,996万3千円、同会計歳出は77億2,626万5千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は4億4,710万9千円の黒字となりました。各会計の決算状況をお知らせします。

入ってきたお金

法人税率の引き下げや建設業を中心に法人活動の業績が大幅に低下し、法人町民税収入は減少となりました。しかし、中核企業の業績堅調を要因として、給与所得が増加し個人町民税が増収となったことから、町税全体では、対前年度比2.8%の増となりました。

地方交付税は、特殊要因に対して交付される特別交付税が豪雪の影響により4億6,769万1千円で、対前年度比1億4,355万円の増額となりました。

国庫支出金は、道路整備に要する社会資本整備総合交付金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等が増加し、対前年度比246.5%増の16億1,990万2千円となりました。

普通建設事業等に充当した町債は、償還財源として交付税措置のある有利な起債の活用に努め、過疎対策事業債等を発行し、対前年度比7.8%増の6億1,330万円となりました。

歳入総額は、対前年度比21.9%増の81億9,996万3千円となりました。

特別会計・企業会計の決算状況

■簡易水道事業特別会計

収入 7,904万3千円
支出 2,661万4千円

■国民健康保険事業特別会計

収入 8億4,845万2千円
支出 7億4,179万3千円

■部落有財産特別会計

収入 1億293万4千円
支出 196万円

■下水道事業特別会計

収入 3億6,467万5千円
支出 3億5,810万9千円

■訪問看護特別会計

収入 8,511万3千円
支出 8,339万1千円

■介護保険特別会計

収入 10億4,362万9千円
支出 10億2,783万9千円

■後期高齢者医療特別会計

収入 1億3,118万7千円
支出 1億1,261万3千円

■病院事業会計

事業収益 10億6,022万1千円
事業費用 10億7,302万円

■老人保健施設事業会計

事業収益 3億5,460万6千円
事業費用 3億4,495万2千円

■水道事業会計

事業収益 1億1,159万1千円
事業費用 1億2,143万7千円

■工業用水道事業会計

事業収益 1億1,027万円
事業費用 1億611万4千円

令和2年度

使ったお金

義務的経費については、会計年度任用職員制度導入に伴い、臨時職員賃金の取扱いが物件費から人件費（報酬）に変わったため、対前年度比17.9%の増となりました。公債費は、平成27・28年度過疎対策事業債等の元金償還開始などにより、対前年度比3.7%、3,120万2千円の増額となりました。

投資的経費は、対前年度比23.4%、1億2,078万6千円の増額となりました。普通建設事業では、道の駅機能拡充事業、町道松岡黒沢峠線道路整備事業、町道橋補修事業、町民総合体育館外装改修事業（長寿命化）などを継続して実施したほか、除雪機械の購入などを実施しました。

また、各基金については、利子積み立てを図るとともに、財政調整基金、減債基金、除雪対策基金、白い森ふるさと応援基金、森林整備等促進基金の原資積み立てや新たに新型コロナウイルス感染症対策利子補給等基金を設置しました。

歳出総額は、対前年度比23.8%増の77億2,626万5千円となりました。

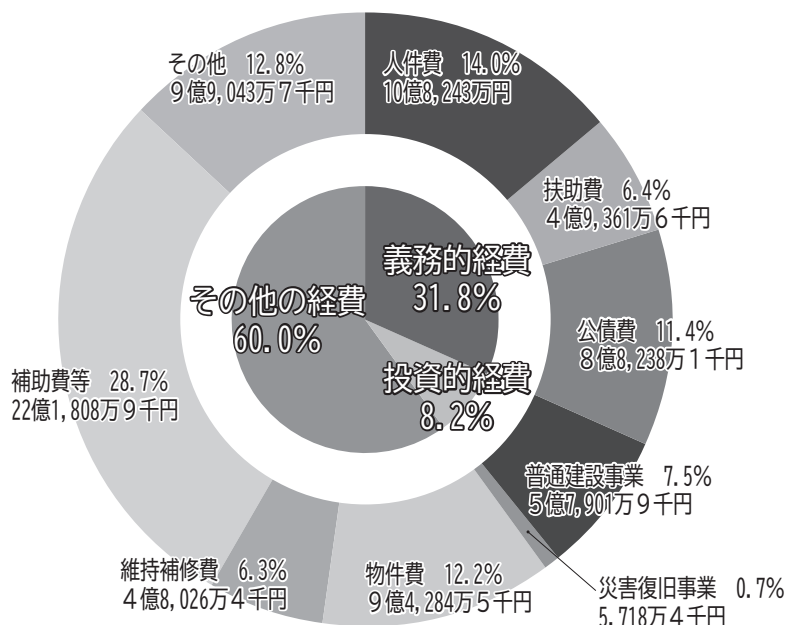
■資金不足比率の状況

公営企業の経営健全化を示す指標で、資金の不足額を営業収益で除した値となります。本町では、病院事業、水道事業、工業用水道事業、老人保健施設事業、簡易水道事業、下水道事業の6会計が対象になります。令和2年度決算について、資金の不足額が発生する会計はありませんでした。

主な基金の積立状況

除雪対策基金や白い森ふるさと応援基金等を各種施策事業に活用しましたが、新たに新型コロナウイルス感染症対策利子補給等基金を設置し、その他各種基金等へ原資積立を行ったことにより、残高は13億2,751万7千円となり、前年度から1億3,126万5千円増加しました。

一般会計歳出 77億2,626万5千円
(前年度比23.8%増)



■健全化判断比率の状況

令和2年度一般会計決算に基づく財政の健全化判断基準は、下表のとおりです。比率が早期健全化基準、財政再生基準を超えると、それぞれの財政健全化計画、財政再生計画の策定が義務づけられます。表中のいずれの指標においても、財政悪化の判断基準に達していません。

指 標	比率（単位％）		
実質赤字比率 一般会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したものの	小 国 町	—	
	早期健全化基準	15.00	
	財政再生基準	20.00	
連結実質赤字比率 町の全会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したものの	小 国 町	—	
	早期健全化基準	20.00	
	財政再生基準	30.00	
実質公債費率 町の借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表したものの	小 国 町	12.2	
	早期健全化基準	25.0	
	財政再生基準	35.0	
将来負担率 町の現在抱えている負債の大きさを財政規模に対する割合で表したものの	小 国 町	76.6	
	早期健全化基準	350.0	
	財政再生基準	—	

名 称	基金の残高	対前年度増減額
財政調整基金	6億9,928万1千円	1億3万3千円
減債基金	8,550万4千円	590万2千円
その他特定目的基金	5億4,273万2千円	2,533万円
合計	13億2,751万7千円	1億3,126万5千円

令和3年第6回 小国町議会定例会

令和3年第6回定例会が9月3日から15日に開催されました。令和3年度一般会計補正予算のほか、令和2年度各会計の決算などが審議され、全て原案のとおり可決・認定されました。主な内容は次のとおりです。

専決処分承認

■8月26日付専決処分

8月23日未明の大雨により、大規模被災した町道市野々黒沢峠線において、国の補助災害復旧事業の採択に必要な測量調査や設計積算業務の経費のほか、被害が大きく早期補修の必要があると判断した町道西滝市野々線、町道針生平五味沢線の維持補修経費を追加する補正予算の専決処分が承認されました。

一般会計に

4億4425万円を追加

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う予防対策および経済対策、おぐにマルチワーク事業協同組合の設立支援等の所要額を追加し、補正後の予算総額は、

68億8606万2千円となりました。

■ふるさと納税の増加への対応

当初、コロナ禍の影響から減少を見込んでいたふるさと納税の寄附件数、寄附額が巣ごもり需要などの影響から増加し、返礼品や郵送料および申込サイトに係る手数料を追加しました。

■おぐにマルチワーク事業協同組合の出捐金、運営費の一部助成

8月5日に「おぐにマルチワーク事業協同組合」の創立総会が開催され、移住定住の促進と地域の担い手確保を目的としたマルチワーカーの派遣事業が展開されることになり、11月からの事業展開に向け、当該組合の財産的基礎となる出捐金と、本年度事業に係る運営費の一部を助成することとし、所要額を追加しました。

■次期総合センター整備基金積み立て

次期総合センター整備に向け、財源確保と負担の平準化を図るため、次期総合センター整備基金を設置し、積み立て額を追加しました。

■保育料の実質無償化の実施

県では、住民税9万7千円未満の世帯の0歳児から2歳児の保育料の負担を軽減することとしたため、本町の基準に当てはめ、該当する34人の世帯に保育料を助成するための経費を追加し、保育料の実質無償化を実施します。

■出産費用の負担軽減へ

令和4年1月1日以降に生まれる新生児に対し、本件の平均的な出産費用と出産育児一時金の差額相当額5万8千円を県と協調して助成することとし、所要額を追加しました。

■事業継続支援

コロナ禍において引き続き厳しい経営状況にある町内の事業所に対し、事業継続を支援するための給付金を支給することとしました。法人事業者10万円、個人事業者5万円で、対象219事業所を想定し、その所要額を追加しました。

■中学校各種大会への派遣

小国中学校バレー部、陸上部の選手が全国大会に出場したことを受け、今後も好成績が期待

されることから各種大会への派遣費を追加しました。

■歴史的建造物を後世へ

昭和の日本を代表する建築構造学者の内藤多仲氏が設計した電興社寮をはじめとする建築物を文化財として後世に引き継いでいくため、文化財指定に係る経費を追加しました。

小国町病院事業会計に

627万1千円追加

コロナ感染予防対策として、オンライン面会の環境を改善するため、Wi-Fi整備費や医療機器等廃棄物の処分費、予防対策機器等の購入費を追加しました。補正後の予算総額は、12億6717万1千円となりました。

小国町次期総合センター整備基金条例の制定について

新たなまちづくりの拠点施設を整備するための実施設計や本体工事など多額の整備費用が見込まれることから、経費負担の平準化と財源確保を目的とした

自治宝くじ助成事業
沖庭コミュニティ協議会
イベント活動備品を整備

沖庭コミュニティ協議会（佐藤孝志会長）では、レクリエーションスポーツ大会などの地域内イベントを実施しています（R3は10月10日(日)開催予定）。この度、イベントの円滑な実施に必要な備品を整備しました。これにより持続的な地域活動の更なる取り組みが期待されます。これは、自治宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの助成金で整備したものです。整備した備品は次のとおりです。アルミステージ一式、お祭り音響セット、焼きそば焼き機、インバーター発電機、カローリング用品一式



総合センター図書室から

～新着図書～ 休館日 毎週月曜日・祝日
◇水たまりで息をする 高瀬隼子
◇テスカトリポカ 佐藤 究
◇田沢郷土誌 田沢郷土誌編集委員会
◇戦争の時代を生きて 高畠町戦争体験を記録する会

小国町過疎地域持続的発展計画策定

時代に即した過疎対策を講じるため、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき、「第5次小国町総合計画

小国町文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について
多くの文化財が所有者の高齢化や担い手不足に伴い、管理・継承が困難となっており、文化財指定制度を見直し、保護管理を強化させるため、所要の改正を行いました。

基金を設置することとし、当該基金条例を設定しました。

小国町教育委員会教育長に遠藤啓司氏が再任

令和3年10月14日に任期満了となる小国町教育委員会教育長に遠藤啓司氏が再任されました。任期は令和6年10月14日までとなります。

小国町教育委員会委員に佐藤修治氏が再任

令和3年9月30日に任期満了となる小国町教育委員会委員に佐藤修治氏が再任されました。任期は令和7年9月30日までとなります。

基本構想」で示した将来像の実現に向け、「小国町過疎地域持続的発展計画」を策定しました。

令和3年度地価調査結果

令和3年度山形県地価調査結果が公表されました。小国町に関するものは下表のとおりです。地価調査とは、各地域で基準となる土地価格を公表し、土地を売買する際の目安等としていただくものです。

所 在	当年価格	前年価格	変動率
兵庫館一丁目6番11 (住宅地)	8,570 (円/㎡)	8,700 (円/㎡)	-1.5%
緑町三丁目9番1 (住宅地)	15,200 (円/㎡)	15,500 (円/㎡)	-1.9%
兵庫館三丁目5番20 (工業地)	6,980 (円/㎡)	7,060 (円/㎡)	-1.1%

入札結果情報（令和3年8月21日～令和3年9月20日実施）

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R3.8.23	令和3年度飯豊温泉引湯管改修工事	小玉川	R3.10.29	13,513,000	パイプライン	13,500,000
R3.9.8	令和3年度道路メンテナンス事業 町道弁当沢線木附沢橋梁更新工事	綱木箱口	R3.12.24	8,436,000	㈱船山工務店	8,200,000
R3.9.8	令和3年度道路メンテナンス事業 町道若山金目線若山橋梁補修工事	若山	R4.1.7	42,028,000	㈱高橋工務店	42,000,000
R3.9.17	令和3年度小国町水道事業 兵庫館地内上水道配水管布設替工事	兵庫館地内ほか	R3.12.17	14,985,000	小国開発㈱	14,500,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

お知らせ

河川の支障木を利用しませんか

山形県では、河川管理上支障となる樹木の伐採協力者を募集します。現場条件により、支障木の伐採・利用について、経費の一部を補助します。(県の基準による)

■対象者 自ら支障木を伐採・利用するかた(団体・企業・個人等)

■対象河川 荒川(小国町大字長沢・太鼓沢地内)、置賜白川(飯豊町)

■申込期間 10月15日(金)～29日(金)

■問合せ

置賜総合支庁建設部西置賜河川砂防課工事・維持調査担当(☎0238-8818234)へ

小児インフルエンザ予防接種費用助成について

町では、インフルエンザの発病や重症化およびまん延の予防を目的に、小児インフル

エンザの予防接種にかかる費用の一部を助成します。

■対象者 本町に住所を有し、接種日において生後6カ月～中学3年生までのかた

■接種(助成)期間 10月1日(金)～令和4年1月31日(月)

■助成額 1回につき2千円
■助成回数 6カ月～13歳未満：2回、13歳以上：1回

■その他 対象者には個別に通知します。詳細については個別通知をご覧ください。
■問合せ 健康福祉課地域保健担当(☎61-1000)へ

高齢者インフルエンザ予防接種への助成

今年度も10月1日から1月31日までの期間に、インフルエンザ予防接種を実施した65歳以上のかたへ接種費用の一部を助成します。詳しくは、世帯ごとに通知でお知らせします。事情により県外の医療機関や施設等で接種を希望する場合は、事前に手続きが必要になるため、早めに健康福祉課へご相談ください。
※生活保護世帯のかたには接

種費用を全額助成します。希望されるかたは、「無料受診券」を交付しますので、事前に健康福祉課へご連絡ください。

■問合せ 健康福祉課地域保健担当(☎61-1000)へ

米沢有為会 令和4年度奨学生募集

置賜地域の自宅外通学する女子学生と地元で活躍したい学生を後押しします。

■募集内容

- ①I型(貸費) 女子向け住居費補助奨学金
- ②II型(減免) 地元若者定着奨学金
- ③III型(貸費) 一般貸費奨学金

■対象者(各2名)

- ①大学・大学院への女子進学者で自宅外通学の者
 - ②大学・大学院卒業後3年以上継続して置賜に居住、県内に就業見込みの者
 - ③大学・大学院進学者
- 応募締切日 10月29日(金)
- 問合せ 米沢有為会米沢支部(☎0238-2215111)へ

With優出張相談会

「不登校・ひきこもりで悩んでいるかたがたへ」

ご家族、友人、知人、もちろんご本人でも構いません。どんな些細なことでも構いませんので、一度ご相談ください。

■日時 10月26日(火) 10時～14時

■場所 総合センター研修室
■内容 専門の相談員が無料で学校のことや就労について相談に対応します。

■予約・問合せ

NPO法人With優(安達) 0238-3319137へ(予約優先)

小国☆地域みらい塾 小国の魅力を発信するInstagramを開設

まちづくりの担い手育成を目的に進めている「小国☆地域みらい塾」の塾生がInstagramを開設しました。こちらからチェックして是非フォローをお願いします。



10月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■3・4カ月児健診

- ・期 日 11月5日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 R3年6月、7月生まれ

■9・10カ月児健診

- ・期 日 11月5日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 12月、R3年1月生まれ

■1歳6カ月児健診

- ・期 日 10月8日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 R2年1~4月生まれ

■2歳児健診

- ・期 日 10月20日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 H31年1~4月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先

健康管理センター (☎61-1000) へ

子育て支援センターから

■10月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要
子育て講座 「ヨガ」	10/21(木)	10:20~11:20・健康管理センター	要
「ハロウィン ごっこ」	10/28(木)	10:45~・子育て支援センター	要

※コロナ感染状況により中止になる場合があります。

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・平熱より1度高い場合は発熱となり利用できません。
- ・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談をお受けしています。

■問合先 子育て支援センター (おぐに保育園内 ☎62-2330)

休日当番担当歯科医のお知らせ

10月3日(日)	長井 寺島歯科医院	0238-88-2903
10月10日(日)	南陽 斎藤歯科医院 (宮内)	0238-47-3309
10月17日(日)	米沢 林歯科医院	0238-22-8148
10月24日(日)	米沢 鈴木歯科医院	0238-23-0370
10月31日(日)	高畠 八木歯科医院	0238-52-0117

求 人 情 報

右の表は9月17日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井 (☎84-8609) へ

今月の納税 2021.10

10月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●10月26日(火) 水道料

●11月1日(月) 町県民税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
	重機オペレーター	1人	
	一般作業員	2人	
株横川建設	現場管理(1級または2級土木施工管理技士)	1人	8:00~17:00
	作業員(分別作業等)	2人	
	重機オペレーター見習い	2人	
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	3人	8:00~17:00
㈱小国技研	ボーリング洗浄工および作業管理補助	2人	8:00~17:00
㈱岩村ポートリー	種鶏育成農場作業員(小国町:小国農場)	2人	8:00~17:00
大河内産業(有)	一般事務員	1人	8:00~17:00
	解体補助作業員	2人	
	ダンプ・重機運転士	1人	
㈱ケープロダクツ	ショッピングサイト受注管理	1人	9:00~18:00

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

※町ホームページに求人情報を掲載しています。



戸籍のまど

（ 8 月 届 出 分 ）

誕生おめでとうございます。

大 宮 遠 藤 源 士（ 広 寿
美 沙 紀

結婚おめでとうございます。

（ 緑 町 野 澤 克 之
河 原 角 小 野 美 結 希
（ 小国小坂町 高 橋 晃 弘
黒 沢 保 科 心 鏑
（ 岩 井 沢 平 田 快
増 岡 伊 藤 悠
（ 小国小坂町 小 林 柊 哉
小国小坂町 国 分 つぐみ

おくやみ申し上げます。

兵 庫 館 安 部 與 作 (91)
栄 町 今 正 夫 (73)
小国小坂町 塚 原 た ま (82)
叶 水 伊 藤 マサ子 (95)
兵 庫 館 佐 野 美和子 (76)
杉 沢 須 貝 賢 一 (70)
あけぼの 舟 山 ミキ子 (85)
若 山 舟 山 ハ ナ (91)
古 田 安 達 鈴 子 (70)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和3年8月31日現在）

人口 男・・・3,564人（－10）
女・・・3,575人（－10）
計・・・7,139人（－20）
世帯数 3,022世帯（－8）

編集後記

町内のあちこちで稲刈りが行われていました。刈り取られた後の独特のにおいを嗅ぐと秋を感じます。さて、首都圏を中心として、緊急事態宣言も解かれようとしていますが、コロナ禍の影響で、大きな要因なのではないでしょうか。息に向かい、以前のようにはイベントでにぎわう秋を楽しみたいですね。（仁科）

10月の あいイベント ボッチャ大会



初めての人もすぐ覚えてプレーできます。

- 日 時 10月21日(木)10:00～12:00
- 対象者 どなたでも
- 参加費 100円（保険料込）
- 持ち物 室内シューズ、飲み物など
- 申込締切 10月15日(金)

■申込・問合先
（☎62-5808）へ

特定非営利活動法人
おくにYui
スポーツクラブ

相 談

▽休日・夜間 納税相談

お仕事などの都合で平日の日中に税金・保険料の納付や、納税に係る相談を行うことが困難なため、下記のとおり、休日と夜間に納税相談の窓口を設置します。この機会にぜひご利用ください。

◆受付内容 『町県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料』の納付と納付に係る相談

◎休日納税相談

■日 時 10月17日(日)9:00～16:30

◎夜間納税相談

■日 時 10月18日(月)～21日(木)
17:30～20:00

◎納税相談共通

■場 所 役場 町民税務課

■問合先 町民税務課税政管理室収納担当へ

▽行政相談

◎行政相談パネル展示・特設行政相談

行政相談制度についてのパネル展示や、行政機関のサービス等に関する要望などに行政相談員が応じます。

■日 時 10月22日(金)10:00～14:00

■場 所 アスモ

◎行政相談

■日 時 11月6日(土)13:00～15:00

■場 所 役場 町民税務課

◎行政相談共通

■対応者 行政相談委員 林公子氏

■申込・問合先 町民税務課町民生活担当へ



●小国町役場 ☎ 62-2111 (代) fax 62-5464
 ●総務課 ☎ 62-2112
 ●観光経済室 ☎ 62-2416
 ●住民窓口担当／町民生活担当 ☎ 62-2260
 ●建設管理室 ☎ 62-2431

●総合政策課 ☎ 62-2264
 ●白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821
 ●国保医療担当 ☎ 62-2261
 ●建設技術室 ☎ 62-2432

●会計室 ☎ 62-2406
 ●農林振興室 ☎ 62-2408
 ●税政管理室 ☎ 62-2403
 ●議会事務局 ☎ 62-2448

挑め、ともに！

小国高校魅力化通信 ⑥

小国高校1年生

「地域に浸る講座」受講

今月は小国高校1年生の「地域に浸る講座」の様子をお届けします。小国高校は総合的な探究の時間の中で地域と協働する授業を行なっています。1年生は「小国町の格好良い大人（いきいきと働いている大人）」に出会い、自分の興味関心を高めよう」をコンセプトに活動しています。

1学期は「格好良い大人」8名の職場を訪問させていただきました。2学期も引き続き小国町を舞台に社会を学び、自分になりたい姿や未来を創造する力を身につける授業を実施していきます。

▼参加した生徒の声

「私も将来、自分で自分の職業を創ってみたいと思っているので、山口ひとみさんの経験を参考にしたいと思いました。」

「柳沢 茜さんのかごから始まった人との繋がりがとてもすごいなと思いました。」

「（渡邊） 拓磨さんの椎茸に対する豆知識を聞いたことがすごく貴重な体験でした。」

「本間（義人）さんのマタギの話を聞いて、小玉川の歴史や山のルールなど新しい知識を身につけることができ良かったです。」



その他
ご協力頂いた
格好良い大人の
かたがた

ke go ya
柳沢茜さん
きんたけ工房
渡邊拓磨さん
越後屋
本間義人さん
旬彩工房
山口ひとみさん



東部開発 大嶋愛さん



YOKAMOS 井上昌樹さん



川崎小動物診療所 川崎恵さん



桜川酒造 塩川秀夫さん

コロナに負けない

お店紹介

vol. 9

「コロナに負けないお店紹介」と題し、シリーズで感染防止対策に取り組み営業する飲食店を紹介していきます。（メニューは税込み価格です。）

店主より一言
新鮮な甘エビの頭をふんだんに使ったローストし、抽出したエビみそ。うま味たっぷりな一杯を是非ご賞味ください。



エビみそラーメン 980円
秋冬限定 1日10杯程度限定

麺屋 雪国（沼沢）

■電話

63-2445

■営業時間

11時～16時30分（水・定休）



金目そば（大盛） 1,000円
季節限定特製天ぷら 550円

金目そばの館（金目）

■電話

62-2800

■営業時間

11時～14時

（水・第2・4日）定休

店主より一言

年末には年越しそば（たれ付）500円の注文も受け付けています。雪が降るまでの限定営業です。是非お越しください。

ドローンがみた、 おぐにの風景 No.28



㊸夕暮れの町中心部

9月21日、中秋の名月のこの日は1日中透き通るような青空が広がっていました。

夕方5時を過ぎると、日が傾き夕暮れが訪れます。神明山公園上空から見渡すと、暗くなり始めた町内の奥には稲刈り真っ最中の田が見え、さらに朝日連峰が夕日に照らされ、輝いているように見えます。

日に日に早くなる日没が秋を感じさせます。短い秋が終われば、長い冬がやってきます。そろそろ冬支度を始める頃ですね。